



## ご協力いただいたみなさまのご紹介

アンバサダー専用ロゴ

### “一般アンバサダー”として広報面で活躍いただきました!

これまで低炭素杯に出場したことのある方の中から、「低炭素杯“愛”」にあふれ、自身の活動フィールドを生かしながら「低炭素杯」を草の根的に広めることを目的に、2017年より低炭素杯アンバサダー制度を実施しています。現在5名の方に、低炭素杯アンバサダーとして活躍いただいています!



#### ● 元 栃木農業高等学校 教諭 小森 芳次 様

低炭素杯は、世代を超えて地域性豊かなイノベーション発掘の場であると思います。栃木農業高校は、低炭素杯2012.2013の大会にて2年連続環境大臣賞グランプリを受賞させていただきました。高校生が地域復興と環境保全を掲げ「農村が元気になれば日本の原風景がよみがえる」を合言葉に取り組みました。生徒にとって全国大会で得たかけがえのない経験は、最高の思い出となり、卒業後社会人として「生きる力」を育む原動力となっています。



#### ● FMおとくに 事務局長 木本 直樹 様

低炭素社会の実現に向けた活動は継続が必要で、いかに活動を次世代に引き継ぐかが課題です。低炭素杯の前身、「ストップ温暖化一村一品大作戦」に商店街の自作LEDランプで出場した2010年。そのとき発表した少年は大学生になった今は商店街の活動を手伝っています。低炭素杯2019の発表活動の中にもたくさんの子どもたち、若者の関りがありました。数年後、活動を引き継いだ彼らが低炭素杯に出場することがあればいいですね。



#### ● 佐賀市上下水道局 下水プロジェクト推進部長 橋本 翼 様

佐賀市下水浄化センターは、暮らしから出る「下水」を資源として捉えて発電や農業利用等に繋げるなど、低炭素な下水処理の実現に努めています。低炭素杯を通じ、環境改善への熱い思いを持った方々と出会うことができ、嬉しく思っています。ここで頂いたノウハウや刺激も活力にさせていただき、あって当たり前の存在になりつつある下水道が低炭素社会構築の一翼を担う、そのような取り組みを今後とも推進したいと考えています。



#### ● ファインモータースクール 営業企画部 広報チームチーフ 齊藤 千絵 様

低炭素杯のゆるっとした温かい雰囲気が好きです。私は2016年に低炭素杯に出場し、エコドライブを様々な世代に伝える発表で、文部科学大臣賞を頂きました。その後はゲスト審査員として参加しています。皆さんの発表は、全国から選ばれた人達だけあって、いつも新鮮で驚かされます。世の中にまだ知られていない取り組みも沢山あって、まさに宝箱のような大会だと思います。そんな低炭素杯をもっと多くの人に知ってもらいたいです。



#### ● ファインモータースクール 営業企画部 広報チームリーダー 福田 慎太郎 様

アットホームで温かみのある私の大好きな低炭素杯。2014の初出場で「これから免許を取る教習生にエコドライブを教えている」ことを発表し、3度目の正直で文部科学大臣賞を頂きました。その後もゲスト審査員や運営にも少し携わさせていただき、今回はアンバサダーもやらせていただけて感激しています。この機会を通じて、いつでも、どこでも誰にでも簡単にできる“エコドライブ”を実践する仲間を増やしていければと思います。

### “協力団体”として広報面・当日のスタッフとしてもご協力いただきました!

こどもエコクラブ全国事務局  
(公益財団法人 日本環境協会)



こどもエコクラブとは、幼稚から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブで、現在約1,800クラブ、10万人を超える子どもたちが全国で活動しています。

「ジュニア・キッズ部門」への子供たちの応募を促進するべく、こどもエコクラブに協力いただき、登録クラブにエントリー募集の声掛けをしていただきました。今回は、ファイナリストの中で3団体がこどもエコクラブの関係/登録団体でした!

自動車教習所  
ファインモータースクール



ファインモータースクールは、低炭素杯に何度も出場、受賞している常連団体で、免許取得の際に自然とエコドライブが身につく「楽エコ教習」を基軸に、小学校でのエコドライブ寸劇や、自治体職員向けのエコドライブ指導者養成など、多様な取り組みを通じて「エコドライブ」の普及を行う自動車教習所です。今年は当日に、受付スタッフとして、事務局と一緒に汗を流していただきました!